

# かけはし

3

March 2011  
Vol.120

かけはしマネジメント対談

高橋金属株式会社

代表取締役社長 高橋 康之氏

戦略フォーカス

村山造酢株式会社

株式会社グランツ

かけはしレインタビュー 野の花応援団最前線

株式会社大木工藝





## 野の花応援団最前線

株式会社大木工藝



代表取締役 大木武彦氏

**世界を変える炭素パワーに着目し  
医・食・環の分野で革新的な開発を続ける。  
枠にとらわれない発想が知的財産を創造する。**

多孔質や遠赤外線の放出などの特性をもつ炭素は、技術革新を可能にする貴重な素材として注目度が高まっている。大木工藝はその炭素にこだわり、炭素の「力」を医療・食糧・環境といった幅広い分野に応用し、技術の明日を拓く研究成果を次々と生み出すベンチャーカンパニーだ。大学の研究者や大企業からも厚い信頼を寄せられるアイデアマン社長がリードするこの会社から、世界で通用する新技術登場の予感がする。

## 歯ぐきの炭素マッサージローラー

## 遠赤外線+振動で温熱治療

—将来性のある研究をたくさんされていましたね。

大木●いろいろ手を出しているように見えるか  
もしれませんが、実はひとつのことを持てて当社は取り組んでいるつもりです。それは、炭素の物性や機能を応用し、「医療・食糧・環境」の分野で世界に通用する知的財産を創造することです。

—炭素にはそれだけの可能性が秘められているということですか? 炭素のパワーを生かした具体的な開発事例を教えてください。

大木●炭は「存じ」のように温ると強く遠赤外線を放出します。人間の体の約60%は水分ですが、水の分子は遠赤外線が当たるとぶつかりあつ

て、熱を発生します。つまり、遠赤外線を当てる人の体は中から温まってくるわけです。特に純度99.9%の超高密度炭素は非常に強く遠赤外線を放出するので、よく体を温め温熱治療と同じくらいの効果を發揮します。この超高密度炭素を使って体に貼り付ける治療用の炭のツブや遠赤ネックレスをつくりました。特にネックレスは大手ジュエリーメーカーから発売され、たいへんなヒット商品になっています。

その成果を応用して、さらに関発したのが、「炭素ローラーシリーズ」です。このシリーズの研究開発で「しがぎんの花賞」をいただきました。これは、先端部の炭素ローラーをモーターで振動させる



炭素の遠赤外線を活用した「歯ぐきの炭素マッサージローラー」

—超高密度炭素でできた減圧釜を生かしたことで、歯周病や口腔内の予防、改善に効果が期待でき、現在、京都府立医科大学大学院で歯科口腔科学の臨床試験をすすめています。「オーラー」は世界初の商品です。歯ぐきの血流をよくすると、歯周病や口腔内の予防、改善に効果が期待でき、現在、京都府立医科大学大学院で歯科口腔科学の臨床試験をすすめています。

## 炭素製の釜で海水を真水化

## 次世代型蓄電池の開発

—超音波で海水を真水化されたのですか?

かけはし  
INTERVIEW

株式会社大木工藝

■本社/大阪市中野3-4-13  
■設立/1970年  
■代表取締役 大木武彦  
■資本金/6000万円

■事業内容/炭素、遠赤外線関連商品の企画開発、製造  
■従業員数/15名  
■URL/<http://ohki-techno.com/>

野の花応援団最前線

## 野の花応援団最前線

地域の企業が芽吹かせたニュービジネスを大切に育て、美しい花を咲かせるお手伝いをしたい。そんな思いで創設した「しがぎんニュービジネス支援ネットワーク『野の花応援団』」は、「産学官金」各方面のみなさまの英知を結集し、起業家の活動をサポートするものです。このコーナーでは、「野の花応援団」の取組状況をインクルード形式で紹介します。